



図書館だより



2023年
3月16日号

秋草学園高等学校 図書館

3学期も残すところ明日が最後の1日となりました。今年度を1学期から振り返ってみると、少しずつ行事も復活し、学校全体に活気が戻ってきたように感じましたが、みなさん充実した学校生活を過ごせたでしょうか。3年生が卒業し、3月は校舎の中が少し寂しくなっていました。期待を胸に入学してくる新1年生と一緒にまた4月から学校生活を明るく盛り上げていきましょう。図書館は3月24日(金)まで開館しています。新着本もたくさん入ってきていますので春の長期貸出を利用して、読書を楽しんでください。

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本

埼玉県の高校図書館に勤める司書たちの投票で選ばれたイチオシ本は、高校生のみなさんに全力でおすすめしたい本ばかり。この図書館だよりで紹介した本も何冊かランクインしました！どの本か覚えているでしょうか。

- 1位 『JK、インドで常識ぶっ壊される』 熊谷はるか || 著 河出書房新社
- 2位 『香君 上 西から来た少女』 上橋菜穂子 || 著 文藝春秋
- 3位 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬 || 著 早川書房
- 4位 『宙ごはん』 町田そのこ || 著 小学館
- 5位 『13歳からの地政学』 田中孝幸 || 著 東洋経済新報社
- 6位 『その本は』 又吉直樹/ヨシタケシンスケ || 著 ポプラ社
- 7位 『ウクライナから来た少女 スラータ、16歳の日記』 スラータ・イバシュコワ || 著 世界文化社
- 8位 『図書室のはこびね』 名取佐和子 || 著 実業之日本社
- 9位 『汝、星のごとく』 凧良ゆう || 著 講談社
- 10位 『税金で買った本』 すいの || 原著 系山岡 || 著 講談社

292-ク 『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷 はるか || 著 河出書房新社

インドで女子高生生活を送ることになった著者。不安と、緊張と、ほんのわずかな期待で始まったインドでの暮らしには初めての体験が目白押し。食文化、宗教、ストリートチルドレンなど、日本にいたら気がつけなかった問題と向き合い、行動し、成長していく。

913.6 『香君 上・下』

上橋 菜穂子 || 著 文藝春秋

植物は仲間や昆虫と、匂い物質によって交流しているとか。『精霊の守り人』や『獣の奏者』『鹿の王』でファンも多い上橋さんの新作は、植物の世界を別次元から感じられます。香君がもたらした帝国を繁栄に導いたオアシスの悲鳴、襲来する災いに人間はどう立ち向かうのか。

春に読みたいこの1冊

B913.6-オ 『エチュード春一番 第1曲 子犬のプレリユード』 荻原 規子 || 著 講談社

初めての一人暮らしと大学での新生活が始まった美綾^{みあや}が出会ったのはなんと犬の姿をした八百万の神！「飼い主におぬしを選んだ」と一方的に言われ、神様と同居することになるが、新生活の波乱はそれだけでは終わらなかった。幽霊騒動に巻き込まれた美綾を神様は守ってくれるのか。

913.6-セ 『春、戻る』

瀬尾 まいこ || 著 集英社

結婚を控えたさくらの前に現れた兄。ニコニコと話しかけてくるけど、さくらに兄はいないし、どう見ても年下だ。戸惑うさくらにお構いなしのおにいさんのペースに飲み込まれ、不思議な兄妹の交流が始まる。世話好きで妹思いのおにいさんがさくらに会いにきた本当の理由とは…。

新着コーナーの気になる本

748-ヤ 『JAPANISM 一世界に伝えたい、日本美景一』 山田 悠人 || 著 パイ・インターナショナル

私たちが暮らす日本には四季折々の美しい景色があります。その素晴らしい絶景を写真家の山田悠人さんが持てるすべてを費やして撮影した写真集。埼玉からも日高巾着田の彼岸花、川越 新河岸川の桜並木が紹介されています。巻末の撮影後記も読み応えがあり、おすすめ。

913.6-オ 『朝焼けにファンファーレ』

織守 きょうや || 著 新潮社

司法試験に合格し、司法修習生として法律実務に関する知識と実技を学ぶ青年たちがこの物語の主演。弁護士・検事・裁判官を目指す彼らと現場で教育係を任せられた先輩たち、両方の視点で法曹の道を進む人たちの熱意や葛藤が描かれています。青春要素もたっぷり！

司書の今月はこの本読みました

昨年、『黒牢城』で直木賞に輝いた米澤穂信^{しおり}さんの最新作『菜と嘘の季節』(913.6-3 集英社)を読みました。前作『本と鍵の季節』が「この後どうなったの!？」と気になるラストだったので、続きを知ることができてホッとしました。主人公は男子高生 堀川くんと松倉くんの図書委員2人。親友ではないが、なんだかんだいいコンビである彼らが図書室に舞い込む謎に挑みます。今作の始まりは返却本に挟まれていた「菜」。その菜がとんでもなく危険なものだと気づいた彼らは持ち主を探し始めますが、いくつもの「嘘」が立ちはだかります。お楽しみに。【今井】